摂食嚥下機能のセルフチェック

	確認方法	判定
嚥下評価	反復唾液嚥下テスト 喉ぼとけの上に指を横に置き、 唾液を飲み込み30秒間で3回以上、 喉が指を乗り越えて飲み込めるかを数える	□3回未満 □3回以上 3回未満であれば 嚥下障害の 可能性がある

出典: 小口和代、ほか: 機能的嚥下障害スクリーニングテスト「反復唾液嚥下テスト」 (the repetitive saliva swallowing test: RSST) の検討 (2) 妥当性の検討. リハ医学37: 383-388, 2000

	確認項目	□にチェック
□腔 機能	①ろれつが回りにくい ②口が乾く、もしくは舌が汚れている ③歯が悪く、食べにくい食品が増えた	□はい □いいえ □はい □いいえ □はい □いいえ
嚥下 機能	④飲み込みに時間がかかる ⑤のどが詰まり一度に飲み込めない ⑥食べかすが残るもしくはよだれが出る	□はい □いいえ □はい □いいえ □はい □いいえ
誤嚥	⑦日頃から痰が絡む⑧お茶や食事でむせる⑨食後にガラガラ声になる	□はい □いいえ □はい □いいえ □はい □いいえ

■ 各項目の「はい」の数が

0コ 機能低下の可能性は低い

1コ 機能低下の可能性あり

2コ以上 機能低下の可能性が高い

本冊子6ページにある 【自宅でできる運動】 を 行いましょう